

平成 28 年度 第1回西蒲区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	平成28年6月27日(月) 午後1時30分から午後3時まで
会 場	巻地区公民館 3階 小ホール
出席者	西蒲区自治協議会委員 26名 教育委員:織田教育委員、上田教育委員 事務局:教育長、教育総務課長、地域教育推進課長、学校支援課長補佐 巻地区公民館長、西川図書館長、西蒲区教育支援センター所長 他1名 傍聴者: 0名
議 事	1 開会 2 教育委員挨拶(織田教育委員、上田教育委員) 3 平成 28 年度教育委員会の施策について(教育長) 4 意見交換(司会 西蒲区教育支援センター所長)
自治協委員	巻北小の鯛車づくりについては、毎年、社会教育施設・地域・学校と協力して活動を行っています。 今後も積極的に連携しながら地域の皆さんから積極的に参加してもらえよう取り組んでいきたい。
自治協委員	峰岡地区でも、巻南小の子どもたちが、公民館との連携事業である「夏☆チャレンジメニュー」の一環で、地域の人と子どもたちが一緒になって「峰岡米」の田植え作業や餅つき大会などを行い、精神的な面での活動もしています。
自治協委員	角田地区は活動できる公民館がなく、子どもたちを連れて行って体験活動することは諦めていたが、コミセンを会場として子ども向けの裂織(さきおり)教室を開催することを目標に、現在講師となる大人が技術を学んでいるところです。 実績のある鯛車などの活動の講座回数、1回あたりの受講人数、指導者の必要人数など、ノウハウを後日教えてほしい。
自治協委員	観光協会の事業 PR も兼ねて、8月7日城山フェスティバルが開催され、午前中は各校のブラスバンド部が演奏を行うので、地域の方もたくさん見に来てほしい。学校との連携の一例として紹介します。
自治協委員	漆山地区では朝ごはん料理講習会が非常に好評でした。 カーリンコン教室も好評で、子どもだけでなく大人も集まるきっかけにもなったと思います。
司 会	たくさんの活動がそれぞれのコミュニティ協議会で展開されているのだなということがよく分かります。
自治協委員	岩室地区では、温泉街のすぐ隣を流れている川で 8 回目の灯籠流しを実施し、小学生と地域住民と温泉街の人々と 500 個の灯籠を作成するなど、地域総出の取組を行ないました。 また、灯籠流しを実施する前には、地域の豊富な人材の中から講師を選び、地域を流れる川を題材に先人の功績などを映像も含めて子どもたちに話してもらいま

	<p>した。</p> <p>そうすることで、子どもたちと地域との関わりが増え、子どもたちの地域を想う心も育ったと思います。</p> <p>実施後には、子どもたちの感想文を大人が読むことで、大人にとってもよいフィードバックがなされました。</p> <p>なにか事業を実施する際には、実施前に情報を入れておくことと事業に対する意気込みが変わってくると思います。</p>
自治協委員	<p>家庭教育振興事業とあるが、あいさつ運動にもっと力を入れるべきではないでしょうか。「あいさつしなさい」と教えると、子どもたちはするが、保護者がしないということもあります。</p> <p>知らない人にあいさつするという事に抵抗があるのかもしれないが、誰にでもすぐに自然とあいさつできるような環境づくりが必要と考えています。</p>
司 会	<p>子どもたちのあいさつの指導、家庭の啓発というよりはそういった環境づくりをとという視点でおっしゃっていただきました。</p>
教育長	<p>家庭教育には、今後も力を入れていきたいと思っています。</p> <p>あいさつについては、顔見知りに対してはあいさつできるので、地域の集まりにより多くの子もたちが参加するようになれば、顔見知りが増え、自然とあいさつができる関係になると思います。</p> <p>また、地域と学校とが一緒になってあいさつ運動を行うのも、方法の一つではないでしょうか。</p>
司 会	<p>それぞれの地域で、あるいは小中の連携事業等で地域と保護者、学校と一体になってあいさつ運動に取り組んでいるようなところもあるのではないかと思いますのですけれども、いかがでしょうか。</p>
自治協委員	<p>岩室地区では長年「スマイルキャンペーン」と題して、春・秋 2 週間ずつ、登校途中の各所にコミ協・PTA の方たちが立ち、子どもたちに声かけを行っています。</p> <p>長い取り組みの成果で子どもたちからも自然と声が出るようになってきています。</p>
自治協委員	<p>社会教育施設との連携の例として、角田浜地区では、スポーツチームに対して、公民館を無料で開放しています。</p> <p>スポーツは「礼に始まり、礼で終わる」というように、子どもの精神面の育成に役立っているので、今後ともスポーツ振興に協力していきたい。</p>
司 会	<p>スポーツを通して社会教育施設を活用して、地域の方々が子どもたちのために尽力されているという例でありました。</p>
教育委員会 事務局	<p>「夏☆チャレンジ事業」について説明。パートナーシップ事業の一環で、公民館が実施主体となり、学校を会場に、小・中学生対象にいろいろな教室・体験活動を行っています。</p> <p>公民館でも、今年度14教室のメニューで宿泊体験教室など地域の方たちと協力して事業を行うこととしています。</p> <p>ほかにも各地区の宿泊体験研修で、宿泊を通じた異学年の交流、あるいは地域の方々との交流、また、その宿泊の中で星空の観察会などの体験をしていただい</p>

司 会	<p>ています。</p> <p>巻地区のみならず、そのほかの地区でもそれぞれ夏休みを中心に公民館事業主催で学校と連携して、地域の方々のご協力を得ながら、子どもたちのためにいろいろな活動が行われるということでした。</p>
自治協委員	<p>「学・社・民の融合」について。事業ごとの実施は形になってきていると思うが、学校・行政(社会教育施設)がやっていることが地域の側には見えてきていない。他地域の連携事業の事例や課題を教えてください。</p>
教育委員	<p>各地域とも、長年継続している事業の成果はたくさん出てきています。</p> <p>他地区のウェルカム参観日に参加してきましたが、防災教育をテーマにして学校と地域とが非常によく協力し合って実施されていると感じています。</p> <p>これも、事業の実施前後にお互いの情報を共有し、広報をしてきたことが有効だったし、特に防災ということで身近な問題は関心を持っていただけると感じました。</p> <p>人の集まる機会を多くとらえて、広く伝えることが、事業にとって有効であり、また工夫が必要な箇所と感じました。</p>
教育委員会 事務局	<p>地域と連携していく際に必要なこととして、課題の共通認識がとても重要と思います。</p> <p>学校だけが頑張ってもだめ、地域だけが頑張ってもだめ。双方が連動し、一体となって子どもたちに対応していくことが大事で、長年続けていくことで成果が出ると思います。</p>
司 会	<p>学校と地域の皆様が、まず、課題を共有するということからスタートするのではないかというお話でした。</p> <p>地域で子どもを育てるために、地域と学校の関わりからみえてきた現状、今後必要と考える取組についてお願いいたします。</p>
自治協委員	<p>自然教育の観点から。松野尾地区には、海に通じている潟である上堰潟があります。</p> <p>その周囲の植栽や清掃活動、サケの稚魚放流など、地域の特性を活かした事業が盛んです。そうした事業には、地域住民の支援が必ず入っています。そのおかげで、子どもたちと地域の関わりが自然とできています。</p>
司 会	<p>地域の素晴らしい豊かな自然が教育資源にもなり、地域の交流財産でもあるという素晴らしいお話をいただきました。</p>
自治協委員	<p>子どもたちに教える指導者の高齢化や人手不足が問題と感じています。</p> <p>事業の種類減少や内容縮小といった事例も出てきています。</p> <p>今の子ども親世代を引き込む方法はないでしょうか。</p>
自治協委員	<p>確かに平日の学校行事の出席は難しく、ボランティアとして活動するのも大変ですが、コツコツと今の活動を前向きに継続していくことが個人としては重要と考えます。その姿を後進の世代も必ず見てくれるはず。</p>
教育委員会 事務局	<p>社会教育施設との連携の例として、図書館の事業を説明。</p> <p>地域の伝統などを紹介する資料などは子ども向けの本が少ないため、学校の先生や地域の大人の方々にもまず読んでもらい、それを子どもたちに伝えてもらうという</p>

教育委員会 事務局	<p>ような流れを作ったり、家読(うちどく)を推進して子どもたちとの会話のきっかけづくり・絆づくりを進めたりしています。</p> <p>先ほどのボランティアの人数が減少しているといった課題について。</p> <p>ボランティアの意識調査の回答として、「活動を通して子どもから元気もらった」という回答が非常に多くあります。</p>
自治協委員	<p>学校に来た時に、子どもたちとの関わりに元気をもらう、といった経験ができるということが大事だし、保護者や地域の方がそのような経験ができるように、と地域教育コーディネーターにはお願いしているところです。</p>
自治協委員	<p>今朝、朝早い時間に登校していく児童をみかけて、ちゃんと朝食を食べてきたのだろうか、ちゃんとしたものを食べてきたのか、とつい心配になった。</p> <p>朝ごはんの学習は重要なので、今後もしっかりやってほしいと思います。</p>
議 事	<p>学校ボランティアについて。現在、就学している子どもがいない方でも活動を頑張っている方がいます。</p> <p>自分も4月から図書館ボランティア、学校ボランティアと行っています。今後も引き続き、活動を行っていきたい。</p> <p>5 自治協議会会長挨拶</p> <p>最初は好事例の報告が続いたが、途中で各地域が抱えている課題も見えてきました。</p> <p>この場で、好事例の情報共有と課題の共通認識が持てたことはよかったと思います。皆で地域のために考えた、有意義な会でした。</p> <p>6 教育委員から</p> <p>会長がおっしゃったように、この場で情報共有、共通認識が持てたのが非常によかったと思います。</p> <p>子どもを取り巻く環境は、めまぐるしく変化していることを感じました。</p> <p>自分はPTAとしての活動を行ってきましたが、まず念頭に置かなければならないのは行事の成功が目的ではなく、子どもの育成が目的であるといったことです。子どもたちが笑顔で過ごせることを大前提に接していくことがとても重要と思いました。</p> <p>それぞれの立場で引き続き考えてもらいたいし、我々教育委員としても考えていきたいと思います。</p> <p>7 閉会</p>